

ASUたちばな会報

第7号 (令和4年11月発行)

趣味から垣間見える人柄	植松 善造	1
Every day is fun!!	豊林 由美子	3
追憶	宇野 弘	5
事務局より	増田 洋平	6
令和4年度 総会次第		7

趣味から垣間見える人柄

植松 善造

小生退職して早5年だが、多趣味故に時間を持て余すことはない。ゴルフ(90前後)・作曲活動(10数曲)・囲碁(自称アマチュア4級)・絵画・麻雀・書道(我流)・物語執筆(名誉棄損で訴えられるので、いまは非公開)・Nゲージと幅は広いが、未だ何一つ極めたものはない。

趣味に関しては、若いころ何かを読んで教訓とした覚えがある。曰く「歳を取ってから始めた趣味は覚えも悪く長続きしない。定年後、有り余る時間で何かを始めると言う考えは間違いである云々」とあった。成る程、それも一理ありと思い、取り敢えず多趣味に走った次第である。

現在、主に週2の囲碁と月3~4の麻雀を楽しんでいるが、確かに定年後始めた人が入ると大変である。麻雀では、慎重と言えは聞こえはいいが、とにかく優柔不断で中々牌を捨てない。反して囲碁ではテンポよく打つが、適当に打つので勝負にならない。これではボランティアの一環では、と楽しみも半減するが、それも含めて趣味の世界かと納得するよう心掛けています。

さて、囲碁の会では十数名の諸先輩が見える。年長者は92歳が2名(共に現役のドライバーだが当然家族は猛反対との事)で80歳代が6名。70歳代が3名で69歳の小生という構成。一番強いアマチュア5段を筆頭に4級までが置碁(ハンディを付け)で楽しんでいる。

当然だが、置碁では下位の者に対して定石は打たない。打っているには勝てないそうで、いかに相手を攪乱しミスを誘うのが置碁の醍醐味との事。個々に見ると人柄が伺える。厳格に待ったを認めず勝負に拘る方。勝負に拘らず要所を指導してくれる方(ちなみに私はこの方を師匠と尊敬している)。ただただ寡黙な方。こちらが石を置く度に「ウーンなるほど、そんな手があったか」等と、話術で不安を煽る方。また、まるで民謡の合いの手のようにテンポ良く打つ方(感と経験だけが頼りなのか)など様々であるが、厄介なのは形勢が悪くなると「ウーン困った」等と、嘆き節を連呼した挙句、長考状態に入る方である。幾ら時間制限が無いとは言え、文句も言えず忍の一字である。そのうえ負けると「もう勝てる相手がない」等と、嘆き節が入ると罪悪感に駆られる時もあるが、反面、勝利した満面の笑みを見ると、不思議と負けた悔しさも半減する。

して見ると、楽しい囲碁の極意は、いかに相手のプライドを傷つけぬ様、さり気なく僅差で勝敗を決する実力と配慮を身に付けることか。

一方、麻雀は囲碁や将棋と異なり偶然性（運）が伴うので、必ずしも上手な者が高確率で勝つ訳ではない。

さて、賭け麻雀はご法度ではあるが、何も掛けないのも如何なものかと最低限で楽しんでいる。初参加のとき、このルールでは誰も下りず、果たして面白いのかと心配したが、皆さん真剣に勝負を楽しんでいる様子に、先入観が改まった。

なお、雀卓は自動式ではない。従って牌を積むにも時間が掛かる。上手く積む方もいれば、多くの牌を表に晒す方もいる。「小指に力が入らないので」と言い訳をすれば、「昔、女を泣かせましたね」と間髪入れずに茶化す方もいる。

また、符の計算は面倒なので数えない取り決めだが、時折、何故か自分が上がると勝手に計算を始める方がいる。普段は温厚だが「符は数えない」と言っても、80符あると豹変されるので、軽い認知症かと諦め好きにさせていただいている。

なお、囲碁と同時開催もあるが、麻雀は囲碁と違い手の内が見えない。そこで俗に言う「三味線合戦」が始まる。「今日は付いてない」「国士を狙うしかない」「場所が悪い」などと、本音もあろうが相手を油断させるか戦術か。当然、信憑性が薄いので誰も気にもせず。寧ろ、それも一興と楽しんでいる。

さて、師匠と初めて雀卓を囲んだ。この日、師匠はトップ2回と絶好調。囲碁も強いが麻雀も強い。3回戦では私は囲碁。対戦まで間があり師匠の後ろで見ていたが、物静かな棋風とは違い麻雀では多弁になる。そんなとき師匠が「今日は運がないからリーチ」と宣言。「え、もうリーチ」と不満の声をよそに、手の内を見れば「メンタンピンドラ 1」という華麗な配牌。闇テンでもよさそうだが、師匠は相変わらず「安い手だ」「誰か麻雀を教えてくれ」などと三味線を連呼。しかし、何巡目かでツモ上がり。裏ドラも乗りハネ満で満面の笑み。

この様子を見て私は思わず「師匠、囲碁とは違い、すごい三味線ですね。人間性を疑いますよ、本当に」と口走ってしまった。何か一言反応があるかと思ったが、師匠はただ、にやりと「そうかねー」と微笑んで見えた。

そんな人柄の師匠ではあるが、師匠、以後（囲碁）宜しくご指導願います、と駄洒落で落ちをつけ敬意を表したい。また、これからも多くの方々と趣味を通じて人生を楽しめれば幸いである。

Every day is fun!!

豊林 由美子

2018年3月末に当法人を定年退職し、4年になります。

退職したら絶対にやりたいことがありました。それは「求職者支援職業訓練コースに入学すること」です。理由は「これまで沢山税金や保険料を支払ってきたので、その恩恵に与りたい」というものです。

職業訓練を受託しているキャリアコン仲間から、入学試験等の情報を仕入れ、数学等中3、高1の問題をネットで拾って勉強しました。面接もクリアし無事入学。

在籍3か月間に勉強した証を残したく、MOSのEXEL・WORD・POWER POINTの資格をコンプリートしました。目標もあり、充実していて楽しかったです。

また、在学中に雇用保険のある組織に内定を貰う必要があったため、いくつか声がかかっていた学校の中から、「学校を法人化したい」という「某専門学校」はやりがいがありそうだと思い10月より入職。1年限定で手伝うこととしました。

入ってびっくり。予実算管理無し。文字にはできないことがてんこ盛り。諸悪の根源は私欲の塊でしかない●●理事長。一目でわかる被り物をしていることから「ズラタヌキ」と命名。床屋の親父しか経験のない「なんちゃって理事長」は組織運営が理解できない。おまけに私欲と感情の塊。監事に申し立てをしましたがなしのつぶて。役員面々も私欲の塊の巣窟。「ユミコの知らない世界」がそこにはありました。

在職中に規程や内規、予算書、教育課程表、講師手配等教職員が各自判断して業務ができるようベースを整えました。止めは愛知県生活衛生課の監査。こちらも教職員で手分けし無事クリアしました。

豊林退職後、半年以内に教職員が5名退職したとか。未だに相談メールが入ります。

2019年、退職表明を機にある方から今の学校を紹介されました。広域通信制高校が母体の高等専修学校。

18歳で高校卒業資格と美容師免許取得資格が取れることに目から鱗。1期生がスタートしたばかりで中身はこれからというところも魅力的でした。

面談後、模擬授業（多分これは実技試験）レポート仕分けやイベント見学、体験入学の手伝いを経て2年間の契約でしたが既に3年目になりました。

年金が止まらない範囲での報酬・私学共済に入ることを条件とさせていただきましたが、理事長はじめ多くの方のお気遣いをいただいております。

3年目契約更新の条件は「1年生の担任を持たせてもらうこと」でした。私のミッションは教育の質を上げること。生徒は担任を写す鏡であることから、入学前から様々な仕掛けを試みました。

生徒が自分で考えて動くには動ける仕掛けが重要です。そのためには準備を念入りに。前倒しで伝えることを大切にしております。

忙中閑あり。コロナ禍でも寸暇を惜しんでせつせとひとり旅も愉しんでおります。出張もあります。仙台出張時は中尊寺や松島。横浜出張からのサンライズで岡山・姫路へ。その他、米子・倉敷・鳥取・出雲大社・由志園・足立美術館・東京美術館巡り・京都伏見の酒蔵巡り・有田・唐津陶器祭りからの門司港レトロ・善光寺御開帳等々きりがありません。この夏は新潟から会津若松へ。SLばんえつ物語を楽しむ予定です。

仕事帰りのジム通いも楽しみのひとつです。最低週3回。日々15歳33名のエネルギーを吸い取っているのです。おかげさまで健康診断はパーフェクト。

来年2月に古希を迎えます。老年の自立は組織離れ。もうそろそろ職業人生に終わりを告げてもいいのかなあと思ったりしますがまだ少し娑婆に未練があったりします。完全リタイヤしたらフェリーで日本一周。そしてスーツ君（鉄道系YouTuber）の追っかけをしたいなあ（笑）

追憶

宇野 弘

私は、昭和53年4月に前身である東海工業高等学校の数学教員として採用され平成30年6月30日付けをもって無事その職責を全う致しました。まさに光陰矢の如し「あっという間」の40年3ヶ月でした。今、振り返ると生徒会顧問として取り組んだ事と空手道部顧問としての思い出が私の貴重な財産となっています。

まず、昭和54年度から始めた卒業献血は、現在生徒会活動の恒例行事となりました。そして、今年で41年目を迎え献血者総数も18000名に達しました。次に、昭和60年のメキシコ大地震が契機となって救済募金の手段を発案したのが始まりである文化祭バザーも保護者会を巻き込んで発展しました。今もバザー品の売上金と募金活動の収益金は、毎年中日新聞社会事業団と日本熱傷協会に寄付されています。また、12月には、生徒会役員と学年有志によるあけぼの学園の清掃奉仕活動・マーチングバンド部によるクリスマスコンサートも生徒会活動の恒例の行事となりました。更に、ゼロの日には運動系部活動が中心となって始めた学校周辺の早朝クリーン運動も生徒会顧問として25年間務める中で育ててきた奉仕活動の実績であると誇りに思っています。

空手道部の顧問としては、奉職して1年目の夏休みに本校空手道部が所属する日本空手道拳和会本部道場に一人で1週間合宿させて頂いたことが懐かしく思い出されます。空手の経験がなかった私にとって空手道の基本を学び、不安を払しょくできたのも拳和会の館長が「知・好・楽」を伝授してくれたお陰でした。

「知っているだけの人は、好きでやっている人にはかなわない。好きでやっている人は楽しんでやっている人にはかなわない。」つまり、何事も楽しんですることを私も心掛ける様に努めました。他校にも積極的に出向いて組手の練習試合をさせていただき、徐々に空手道部がレベルアップしてインターハイや全国選抜大会に出場できるようになったことが思い出されます。私自身も愛知県高体連空手道専門部委員長、東海地区委員長、東海地区審判部長を拝命し、部員と共に切磋琢磨して高校空手道の発展に少なからず寄与させていただけたと思っております。

最後に長年にわたり共に校務を支えて頂きました先生方への感謝の念と40年

の長きにわたり私を育ててくれました学園に心からお礼申し上げます。尚、今後
もご使命があれば、微力ながら学園の発展に貢献したいと思います。 合掌

事務局より

この度、会報第 7 号を発刊させていただくことになりました。これは皆様のご協力の賜物だと思っております。誠にありがとうございます。

さて、コロナ禍も 3 年目となり、新型コロナウイルスの接種も既に 4 回目の接種が始まりました。しかし、日本全体の感染対策も徐々に緩和され始めた矢先、再び感染者が増加し始めるなど事態の収束には中々至らない状況です。このような中では人とコミュニケーションを取る機会が減っていることと思いますが、本会としては今年度も ASU たちばな会総会を 10 月 15 日(土)に開催することができました。新年会など飲食を伴う懇親会は未だ開催が難しい状況ですが、少しでも早く事態が収束し、会員の皆様がコミュニケーションを図れる場が設けられればと考えております。

さて、本学園の各設置校についてですが、愛知産業大学に令和 2 年度新設された強化指定部活動の男子ハンドボール部が東海学生ハンドボール連盟春季 3 部リーグで優勝し、今年度秋季リーグより 2 部に昇格いたしました。残念ながら今年度秋季リーグより 2 部降格となった硬式野球部及び男子バレーボール部とともに 1 部昇格を目指して奮闘しております。

また、愛知産業大学工業高等学校の電気科 3 年生徒が第 17 回若年者ものづくり競技会に出場し、見事金賞を受賞しました。本学園各校学生・生徒の活躍は、学園広報誌コミュに掲載しておりますので、是非ご一読いただきたく思います。

連絡先：法人事務局 業務課 増田 洋平

〒460-0016 名古屋市中区橘 2-6-15

TEL：052-339-2781 FAX：052-339-2782

E-mail：ymasuda@asu.ac.jp

令和4年度 ASUたちばな会 総会

日 時：令和4年10月15日（土）11時～12時
場 所：愛知産業大学工業高等学校 橘校舎3階会議室
名古屋市中区橘2-6-15 TEL：052-339-2781

総会次第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 新役員あいさつ
4. 新入会員の紹介（令和3年度入会2名、令和4年度現在6名）
5. 令和3年度活動報告
 - (1) 第1回理事会
日時：令和3年7月17日（土）13時30分～15時
場所：法人事務局 役員会議室
出席者数：6名
 - (2) 総会及び第2回理事会
日時：令和3年10月30日（土） 理事会 10時～
総会 11時～
場所：愛知産業大学工業高等学校 橘校舎3階会議室
出席者数：理事会7名
総会11名
 - (3) ASUたちばな会報第6号 発行
6. 令和3年度会計報告
7. 令和4年度活動計画
 - (1) 第1回理事会
日時：令和4年6月18日（土）10時～
場所：法人事務局 役員会議室
 - (2) 総会及び第2回理事会
日時：令和4年10月15日（土）
場所：愛知産業大学工業高等学校 橘校舎3階会議室
 - (3) ASUたちばな会報第7号 発行
8. その他
9. 閉会のことば

以 上

